

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第61回 2016年11月「不登校をめぐって」の巻

学校のSCとして不登校について支援していく際に、子どもの見立てのみならず、保護者、先生を含めた学校の思いを含めて、どのようにふるまい関わっていくのかというところに難しさを感じていることが、ヒシヒシと伝わってきました。

この難しさは、こたえというものがあるとしたら「子どもの内にある」と考えている心理士としての思いからくるのだろうと思いました。いかにそこを守りながら（支えながら？）周りとは対峙していくか・・・そのことを改めて強く思いました。

記録： 山内（臨床心理士）

日時： 2016年11月13日(日) 10:00～12:00
場所： 茨木市立男女共生センター（ローズWAM）
参加者： 11名（大阪府、兵庫県 SC・教育分野 CP・医療分野 CP・
産業分野 CP・福祉分野 CP・教員・大学院生）

内容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：不登校をめぐって

後半：心理アセスメントの練習

事例：小4男子の不登校ケースを通して

心理士に残った思いを再考する

次回開催予定：2016年12月11日(日) 10:00～12:00

茨木市立男女共生センター ローズWAM

テーマ：いじめについて